

## ■ 梅毒検査一覧 ■

分類	検査コード	検査項目	検体量 mL	保存 条件	容器	実施料 判断料	所要 日数	検査方法	基準値	備考	検査目的および異常 値を示す主な疾患名
	統一コード										
感 染 症 関 連 検 査	1397 5E074	梅毒 定性	RPR法	血清0.6	冷蔵	A1 ↓ A2	15 免疫	ラテックス 凝集法	(－)	脂質抗原検査 (STS)	梅毒
	1399 5E075		TP抗体	血清0.3							
	1401 5E079		FTA-ABS法	血清0.2			134 免疫	FA法	陰性	TP抗原に対する検査 判定基準：下記参照	
	1403 5E080		FTA-ABS法 IgM	血清0.3							
	1398 5E074	梅毒 定量	RPR法	血清0.6	冷蔵	A1 ↓ A2	34 免疫	ラテックス 凝集法	1.0未満 R.U.	脂質抗原検査 (STS)	
	0441 5E075		TP抗体	血清0.4							
1402 5E079	梅毒 半定量	FTA-ABS法	血清0.2	冷蔵	A1 ↓ A2	134 免疫	4～7	FA法	20未満 倍		

\* 梅毒血清反応 (STS) 定性、梅毒血清反応 (STS) 半定量及び梅毒血清反応 (STS) 定量は、従来の梅毒沈降反応 (ガラス板法、VDRL法、RPR法、凝集法等) をいい、梅毒血清反応 (STS) 定性、梅毒血清反応 (STS) 半定量及び梅毒血清反応 (STS) 定量ごとに梅毒沈降反応を併せて2種類以上ずつ行った場合でも、それぞれ主たるもののみ算定する。